まちづくり市民委員会及び総合計画審議会で出された意見等への対応

基本目標３	みんなの命と暮らしを守るまちづくり
政策	（１）災害対策
施策	①　地域の防災力の強化

素案（たたき台）欄の見方

赤字＋下線…意見を包含している箇所
赤字＋太字…意見を受けて素案を修正した箇所

現状と課題

素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見	総合計画審議会の意見	意見を受けての対応等
①地域住民が共助の精神に基づき自主的に結成する自主防災組織は、全164行政区において結成されています。 **②自主防災組織による防災活動や地域住民の防災意識は、地域により**自然災害の危険性が異なること、また、自治会への未加入者の増加などによる地域のつながりや共助意識の低下により、**地域間**において差が生じている状況です。 **③自主防災組織が作成した地区防災計画に基づき、災害時の対応や平常時の防災活動を進めています。** 【修正前】参考 ~~①地域ごとに自然災害の危険性が異なること、また、自治会への未加入者の増加などによる地域のつながりや共助意識の低下により、自主防災組織間や校区間において、防災意識や防災活動に差が生じている状況です。~~	・自主防災組織とは何か（接点がない、どこにある、行政区にある？） ・防災ハンドブックが周知されていない ・防災ハンドブックに118番の紹介、記載がない ・防災ハンドブックを市民が活用できていない、情報が届いていない	**１．自主防災組織を市民が認識してない実情があるため、自主防災組織を整理しながら強化することが必要ではないか。** **２．まちづくり市民委員会から「自主防災組織とは何か」という意見があることと、防災意識に差があることを課題としていることを踏まえ、「自主防災組織の機能強化」、もしくは、「自主防災組織を活用した自助共助の取組が、地域によって差がある」等の文言を入れていただきたい。** **３．「自主防災組織間や校区間において」について、市民に分かりやすい表現にするため、「地域間において」との文言に修正することを検討いただきたい。**	**●まちづくり市民委員会の意見** **・自主防災組織とは、地域住民が共助の精神に基づき、自分たちの地域を災害から守るため自主的に結成する団体です。全164行政区において結成されています。自主防災組織とは何かについて現状と課題①のとおり追記します。** **●総合計画審議会の意見** **１.自主防災組織の機能強化については、基本方針❶、❷や主な取組の(1)、(2)に反映します。** **２・３．ご指摘いただいた内容を検討し、自主防災組織、地区防災計画(主な取組に記載)の説明を加えます。**

施策の基本方針

素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見	総合計画審議会の意見	意見を受けての対応等
❶全地域に同じような取組を推進するのではなく、地域の状況に応じた、**自主防災組織を中心とした**防災活動を推進します。 ❷地域の防災士が各自主防災組織に積極的な参画ができる体制を構築し、**平常時から**自主防災組織の活動の充実を図ります。 ❸自主防災組織が、災害発生時などに地区防災計画に基づいて効果的に活動するための支援を行います。~~災害発生時等に、自主防災組織が迅速かつ効果的に活動することができる体制を構築します。~~	―	**１．❶「全地域に同じような取組を推進するのではなく、地域の状況に応じ、自主防災組織を活用した防災活動を推進します。」という記載内容に修正していただきたい。** **２．❷「体制を構築し、」の後に「平常時から」という文言を追加した方が、より❷（災害発生前の予防）と❸（災害発生時）の違いが明確になるのではないか。**	**●総合計画審議会の意見** **１．自主防災組織を活用するという表現は、市が組織を使う印象があるため、「自主防災組織を中心とした～」に変更します。** **２．ご指摘いただいた内容を検討し、❷に「平常時から」という文言を追記します。** **また、❸の文言を修正します。**

主な取組			
素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見	総合計画審議会の意見	意見を受けての対応等
（１）地域の防災士が中心となった自主防災組織等が行う防災訓練等への支援	―	１．地域を巻き込んだ訓練が必要であるため、「地域の防災士や自主防災組織が中心となった地域の防災訓練等の支援」と記載していただきたい。 ２．防災意識の向上の取組として、防災意識が高い地域の活動の取組を自治会に紹介してはどうか。	●総合計画審議会の意見 １．ご指摘のとおり、地域を巻き込んだ訓練が必要ですが、防災士は、自主防災組織の中心的な役割を担うことを期待していること、自主防災組織だけでなく校区単位での活動も想定しているため、表現はそのままにさせていただきます。 ２．防災意識が高い地域の紹介等については、取組を具体的に進めていく際の参考とします。 また、文言を一部修正します。
（２）自主防災組織の実行性を確保するための~~全自主防災組織での~~地区防災計画の策定・更新等~~による自主防災組織の実効性の確保へ~~の支援	―	１．避難訓練を楽しくしていく取組をしていただきたい。 ２．「地区防災計画」の説明が少し欠けているが、市民に理解いただけるか。	●総合計画審議会の意見 １．避難訓練を楽しくしていく取組など防災活動については、各自主防災組織等で検討していただくため、地区防災計画の策定・更新等に包含させていただきます。 ２．「地区防災計画」の説明については、現状と課題③に追記します。 また、文言を一部修正します。
※ 素案（たたき台）に記載のない取組	・防災ハンドブックの見直し ・地域の特性を知る（川のピクニックなどの遊びを入れてはどうか） ・企業、団体と連携した防災意識の啓発 ・小中学校で防災情報を教えてもらうことや連携した取組はできないか？	１．自主防災組織の機能を前面に出して理解を深めることで、自治会への加入を控えている人も意識が変わるといった、副次的な効果もあると考えられる。単なる任意の寄り合い組織に加入するかしないかというような枠組みではなく、命を守る行動としての自治会の位置付けが強くなればと考える。	●まちづくり市民委員会の意見 ・防災ハンドブックの更新については検討し、具体的な取組の参考とします。 ・「地域の特性を知る」「企業、団体と連携した防災意識の啓発」の意見については、（２）の取組を具体的に進めていく際の参考とします。 ・「小中学校で防災に関する授業」については、現在授業を取り入れているため、引き続き取組を進めます。 ●総合計画審議会の意見 １．取組(事業)を進めていく上で、説明等を行っていきたいと考えています。

まちづくり市民委員会及び総合計画審議会で出された意見等への対応

基本目標３	みんなの命と暮らしを守るまちづくり
政策	（１）災害対策
施策	②　防災・減災基盤の整備

現状と課題

素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見	総合計画審議会の意見	意見を受けての対応等
①防災行政無線は、地域や天候等により聞き取りづらい状況が~~あるため~~生じることがあります。また、住宅開発等により居住エリアが広域化しているため、全てを網羅することは困難ですが、市民に防災情報を迅速かつ的確に伝えることができる環境を整備する必要があります。 ②自然災害の危険性が高い地域の高齢化が進み、地域内で避難行動要支援者の避難を支援する人材の確保が困難な状況です。 **③大規模災害の発生に備え、道路や橋、上下水道等の社会基盤の整備が必要です。**	・30km圏内に住む人は、原子力防災について情報がない、知らない	**１．施策が基盤の整備であるため、ハード整備の課題を追記していただきたい。**	**●まちづくり市民委員会の意見** **・原子力防災についての情報発信については、広報等を活用し行うよう検討します。** **●総合計画審議会の意見** **１．ご指摘いただいた内容を踏まえ、現状と課題③を追加しました。** **【追加】** **③大規模災害の発生に備え、道路や橋、上下水道等の社会基盤の整備が必要です。** **また、①の文言に一部追記します。**

施策の基本方針

素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見	総合計画審議会の意見	意見を受けての対応等
❶情報伝達の多重化を図り、災害時等の確実な情報収集・情報伝達手段を確保します。 ❷避難行動要支援者の確実かつ安全な避難体制の構築を図ります。 ❸国土強靭化地域計画を着実に実行し、災害に強い安全なまちづくりを進めます。	・原子力災害に対する備えの強化	―	**●まちづくり市民委員会の意見** **主な取組（４）に包含させていただきます。**

主な取組			
素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見	総合計画審議会の意見	意見を受けての対応等
（1）各種ＳＮＳやＩＣＴを活用した防災情報を伝えるための新しいサービスの積極的な導入**及び情報収集方法の啓発**	・災害時、年配者はテレビから情報を得られるとよい ・SNSでの情報取得の際、フェイクニュースとの区別ができるか、防止対策	**1．サービスの積極的な導入はすでに実施されているが、知らない人が多いため、取組としては周知が必要である。**	**●まちづくり市民委員会の意見** **・フェイクニュースとの判別を行うためには、情報の信ぴょう性の判断が重要であるため、市の公式HPや公式SNSからの情報収集を進めます。** **●総合計画審議会の意見** **1.ご指摘いただいた内容及びまちづくり市民委員会の意見から、「情報収集方法の啓発」を追記し、取組を進めます。**
（2）自主防災組織の活性化等による避難行動要支援者の避難支援等関係者の確保	・玄関に、要支援者や支援希望の印がわかるように札を出す ・日常的な訓練は大事	―	**●まちづくり市民委員会の意見** **・意見については具体的な取組を進める際の参考とします。**
（3）地域や関係機関・団体等との連携・情報共有による避難行動要支援者の個別避難計画の作成	―	―	―
（4）原子力災害における避難計画の実行性の向上を目的とした原子力防災訓練の実施~~原子力防災訓練を毎年実施することによる避難計画の実行性を向上~~	・原子力の避難訓練については、30km圏内を外れる地域も実施すべきではないか ・原子力防災訓練について、海で船を使って逃げる方法の訓練を検討してはどうか	**1．原子力に関する教育・啓発をしていくことが必要である。** **2．原子力災害に関する取組は、施策①地域の防災力の強化に記載する項目ではないか。また、原子力訓練以外の訓練も必要なため、「原子力防災訓練を毎年実施する～」を「原子力防災訓練を含む総合的な防災訓練を実施し」と修正していただきたい。**	**●まちづくり市民委員会の意見** **・意見については具体的な取組を進める際の参考とします。** **●総合計画審議会の意見** **1．意見について、出前講座等を活用し、風水害や原子力災害に関する教育・啓発を継続していきます。** **2．施策①は自助・共助、施策②は公助という整理をしています。原子力防災訓練は市が主体となって行うものであるため、施策②に記載しています。また、原子力防災訓練を除く総合的な防災訓練を実施する計画はなく、自主防災組織や校区が主体となった防災訓練を主に進めていく考えであるため、素案は修正しません。** **また、文言を一部修正します。**
※ 素案（たたき台）に記載のない取組	・災害の記憶や記録を年配者（よく知っている老人）に聞き取る ・九大との連携した災害時の備え	**1．施策は基盤の整備であるため、取組には社会基盤の整備が必要である。耐震化だけでなく、老朽化した施設の健全なる管理・維持管理等が必要なため、「橋や上下水道を含む、社会基盤整備」という取組を追加していただきたい。**	**●まちづくり市民委員会の意見** **・取組を具体的に進めていく際の参考とします** **●総合計画審議会の意見** **1．基本目標６にて取組を進めます。** **・道路、橋：政策（３）-施策②道路・橋の長寿命化** **・上水道：政策（４）-施策①安全で安定的な水の供給** **・下水道：政策（４）-施策③浸水被害対策の推進** **【追記：掲載の仕方については精査予定】** **※道路や橋、上下水道等の社会基盤の整備については、基本目標６の取組として進めます。**

まちづくり市民委員会及び総合計画審議会で出された意見等への対応

基本目標３	みんなの命と暮らしを守るまちづくり
政策	（２）消防・救急の充実
施策	①　消防力の強化

現状と課題

素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見	総合計画審議会の意見	意見を受けての対応等
①全国的に火災の件数は減少傾向にあるものの、建物の大規模化・複雑化により、火災が発生すると**消火活動の困難性が増し**被害が拡大する~~恐れがあります~~危険性が~~高まっています~~。 ②地震や風水害の~~が~~大規模化~~やしているとともに、~~生活様式の変化、建物の高機能化により、**想定していないような被害や**対応が困難な災害**が発生する恐れがあります**~~の発生が懸念されます~~。 **③災害発生時などの出動に支障をきたすことなく迅速に対応できるよう、体制を整備する必要があります。**	・空き家の情報や避難場所がわからない（地震で火事が起きた場合など） ・災害時にどこが避難所になるか、イメージがつかない ・消防団員の減少 ・自主防災組織をどう組み立てるか	**１．①について、課題は「気候変動や建物の大規模化、複雑化」よりも、「建物の老朽化等により火災が延焼する」ことではないか。** **２．②について、「これまでに経験したことがないような被害が発生することが想定される」ことが課題であると考えられるため、「想定してないような被害が発生する恐れがあります。」という文言への修正を検討していただきたい。** **３．消防団員の減少が課題であると考えられるため、現状と課題に「消防団員の減少により消防組織が衰えている」、取組に「消防力を強化するため、消防団員の減少を防ぐための対策を講じる」などの追記を検討していただきたい。**	**●まちづくり市民委員会の意見** **・「避難所」に関する意見について、避難所の位置や避難のタイミングなどは防災情報に含むものであるため、基本目標3-政策(1)-施策②に包含するものと整理します。** **・「消防団員の減少」の意見を踏まえ、主な取組（２）の取組を進めてまいります。** **・「自主防災組織」の意見については、基本目標3-政策(1)-施策①に包含するものと整理し、具体的に取組を進めていく際の参考とします。** **●総合計画審議会の意見** **１．①について、被害拡大の要因は建物の老朽化ではなく、建物の大規模化、複雑化に伴い消火活動の困難性が増すことです。表現を明確にするため、「消火活動の困難性が増し」を追記修正します。** **２．②について、ご指摘のとおり「想定してないような被害が発生する恐れがある」ことも課題と考えられるため、「地震や風水害の大規模化や生活様式の変化、建物の高機能化により、想定していないような被害や対応が困難な災害が発生するおそれがあります。」に追記修正します。** **３．ご指摘のとおり、消防団員の減少は全国的な課題です。しかし、糸島市では消防団員数を一定数維持しており、減少に歯止めをかけるための対策を講じています。** **　また、団員確保が困難な状況の中でも、今後は活動できる団員の維持・確保に努め、消防力の強化を図る方針です。** **　なお、消防団については、令和５年12月に策定した「糸島市消防団活性化計画」に基づいて事業を進めており、この計画の中で必要な団員数を検討・検証し、条例で定める消防団員の定員を改正する予定としているため、消防団員の減少防止対策に関する記載については、現段階では差し控えたいと考えます。**

施策の基本方針

素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見	総合計画審議会の意見	意見を受けての対応等
❶火災の発生を未然に防ぐとともに、火災の発生による被害を軽減するため、火災予防に関する取組を強化します。 ❷~~大規模災害の発生に備え、消防署と消防団の連携強化を図り、~~災害の大規模化・複雑化・多様化に対応するため、関係機関との連携を図りながら消防力の~~を~~充実・強化~~を行い七~~、災害対応力を向上させます。	・消防団と自主防災組織の連携 ・豪雨の備え	**1．❷について、災害の発生に備えるためには、消防署と消防団、併せて自主防災組織との連携も必要ではないか。「自主防災組織と連携して」などといった文言の追記を検討していただきたい。**	**●まちづくり市民委員会の意見** **・意見については基本目標３－政策(1)－施策①に包含するものと整理し、具体的に取組を進める際の参考とします。** **●総合計画審議会の意見** **１．消防署は災害発生時に専門的な消火・救助活動を行う公的機関であり、自主防災組織は地域住民が主体となって自分たちの地域を守るための団体です。両者はそれぞれ異なる役割を担うため、素案に追記は行いませんが、災害が発生する前の段階では、関係課と協力し、防災に関する啓発活動を実施していきます。** **また、❷の文言を一部修正します。**

主な取組			
素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見	総合計画審議会の意見	意見を受けての対応等
（１）計画的かつ効果的な防火査察の実施による多角的な違反是正指導の徹底	―	―	―
（２）消防団との連携強化と様々な訓練の実施による消防力の強化	―	１．消防団や自主防災組織との連携について追記を検討していただきたい。	●総合計画審議会の意見（施策の基本方針の回答の再掲） １．消防団と自主防災組織の連携については、基本目標３－政策(1)－施策①に包含するものを整理し、具体的に取組を進める際の参考とします。 　消防署は災害発生時に専門的な消火・救助活動を行う公的機関であり、自主防災組織は地域住民が主体となって自分たちの地域を守るための団体です。両者はそれぞれ異なる役割を担うため、素案に追記は行いませんが、災害が発生する前の段階では、出前講座などを通じて、防災に関する啓発活動を実施していきます。
（３）消防車両や消防施設などの計画的な整備・更新による消防力の強化	―	１．現状と課題や施策の基本方針に当てはまらない取組と見受けられる。主な取組として残すのであれば、現状と課題に消防車両や消防施設などの計画的な整備に取り組む必要性等を追記していただきたい。	●総合計画審議会の意見 １．現状と課題に、車両や消防施設などの計画的な整備に取り組む必要性等を追記しました。 【追記】 ③災害発生時などの出動に支障をきたすことなく迅速に対応できるよう、体制を整備する必要があります。 施策の基本方針については、❷の「災害の大規模化・複雑化・多様化に対応」「消防力の充実・強化を行い、災害対応力を向上」に対応するものと整理します。
※ 素案（たたき台）に記載のない取組	・海抜〇ｍという表示	１．消防団については、地域や行政区のみで取り組むのではなく、今でも校区単位で活動されているように行政連携のような形で広い校区単位で取組むなど、消防団活動のあり方を検討していただきたい。	●総合計画審議会の意見 １．現状において、消防団は、地域、校区単位を超えた活動をしているため、今後も取組を進めていきます。

まちづくり市民委員会及び総合計画審議会で出された意見等への対応

基本目標３	みんなの命と暮らしを守るまちづくり
政策	（２）消防・救急の充実
施策	②　救急体制の充実

現状と課題

素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見	総合計画審議会の意見	意見を受けての対応等
①出動件数の増加や市外の病院への搬送が多くなっていることから、救急出動１件あたりの所要時間が長くなっているため、救急車の現場到着所要時間が延伸傾向にあります。 ②市民の救急・救命に対する意識を定着させ、さらに高める必要があります。	・次に新型コロナのような感染症の対応、対策はあるのか？	―	**●まちづくり市民委員会の意見** **・国の感染症対策に基づき対応します。**

施策の基本方針

素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見	総合計画審議会の意見	意見を受けての対応等
❶市民の生命を守るため、救急車の現場到着所要時間の維持に努めます。 ❷救急車の適正な利用に関する市民理解を促進します。 ❸救命講習等について、市民が反復継続して受講することを促進します。	・スムーズな病院受入れの体制づくり	―	**●まちづくり市民委員会の意見** **・県の医療体制に基づき、関係機関に対して救急車受入れについて協力を依頼しております。**

主な取組			
素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見	総合計画審議会の意見	意見を受けての対応等
（１）通信指令システム等を計画的に更新・整備することによる119番通報から出動指令までの迅速化	―	―	―
（２）救急車を計画的に更新・整備し、増加する救急需要に対応できる効率的な運用	―	―	―
（３）応急手当講習や消防防災フェアの開催等による救急車の適正な利用に関する周知・啓発	・救急車の出動要請をAIで判断できるようにならないか ・救急車を呼ぶかどうかの判断が難しい、相談できる「＃7119」を広く周知	―	**●まちづくり市民委員会の意見** **・ＡＩ活用については、国で実証実験中です。今後、その効果や課題を踏まえながら、全国的な導入が検討される見通しです。** **・本市ホームページ、広報誌等で広報していますが、今後も継続して救急電話相談「＃７１１９」を周知してまいります。**
（４）応急手当講習等の受講者を増加させることによる市民の救急・救命に対する意識の向上	・火事の発生時などに近所の高齢者へ呼びかけをする、応急救護の訓練	―	**●まちづくり市民委員会の意見** **・建物火災等の発生時には、防災無線の放送を用い発生地域に知らせております。応急救護の訓練については、定期的な応急手当講習会等を通じ、広く市民に周知を図っております。**
※ 素案（たたき台）に記載のない取組	・オンライン診療	―	

まちづくり市民委員会及び総合計画審議会で出された意見等への対応

基本目標３	みんなの命と暮らしを守るまちづくり
政策	（３）防犯・交通安全の推進
施策	①　地域の防犯力の向上

現状と課題

素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見	総合計画審議会の意見	意見を受けての対応等
①子どもたちへの声かけ事業や**高齢者が犯罪に巻き込まれる事案など**が後を絶たないため、地域や関係機関が一体となった防犯活動を充実させていく必要があります。 ②防犯灯や公共施設を中心に防犯カメラの設置を進めていますが、痴漢や窃盗などの犯罪は繰り返されています。 ③管理不全な空き家が増加しており、防災、防犯、景観、近隣環境への悪影響など、さまざまな問題を引き起こす要因となっています。	・コロナを経て、“つながり”が弱くなっている ・近所づきあいの重要性 ・集まる場が地域であればよい	１．高齢者が犯罪に巻き込まれるケースは増加しているか。増加している場合、現状と課題にその実情及び取組に「高齢者等への指導」を追記することを検討していただきたい。高齢化が進んでいるため、高齢者が犯罪に巻き込まれるケースは増加すると考えられる。	●まちづくり市民委員会の意見 ・ご意見のとおり、「つながり」や「集まる場」が充実していくことで地域の防犯力の向上につながると考えます。基本目標２-政策（1）-施策①に包含するものと整理し、取組を進めてまいります。 ●総合計画審議会の意見 １．糸島市内における高齢者が犯罪に巻き込まれる件数は持ち合わせていませんが、全国的に平成21年以降一貫して高齢者が犯罪に巻き込まれる件数は増加しています。（警察庁HPより）糸島市も同様と考えられるため、現状と課題に「高齢者が犯罪に巻き込まれる事案」を追記します。取組については、高齢者のみならず、その家族や地域が犯罪の現状を理解し、防災対策と同様に、家族などで防犯対策等について話し合うことが重要であるため、防犯対策や犯罪の現状などについて、幅広い世代への周知、啓発を実施していくことを追加します。

施策の基本方針

素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見	総合計画審議会の意見	意見を受けての対応等
❶子どもたちの登下校時の見守り活動や小中学校の防犯対策を強化します。 ❷犯罪の発生状況等を踏まえながら、地域と連携して犯罪の抑制を図ります。 ❸犯罪発生の温床となる危険な空き家等の発生を抑制します。	・参加したくなる見守り、防犯活動（パトラン） ・空き家活用の促進	―	●まちづくり市民委員会の意見 ・「参加したくなる見守り、防犯活動」の意見については、取組を具体的に進めていく際の参考とします。 ・「空き家の活用促進」の意見について、基本目標２-政策（2）-施策①に包含するものと整理し、取組を進めてまいります。

主な取組			
素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見	総合計画審議会の意見	意見を受けての対応等
（１）青パトによる地域巡回や生徒指導専門員による小中学校の登下校時の巡回の充実	・パトランが行かない場所のパトロール強化	―	●まちづくり市民委員会の意見 ・現状の活動範囲を見直しつつ、関係機関と連携してパトロール体制の充実に努めてまいります。意見について、具体的な取組を進める際の参考とします。
（２）教員や地域・警察が連携した登下校時の子どもの見守り等による防犯対策の強化	―	―	―
（３）地域や関係機関が連携し、高齢者を中心に市民全体の防犯対策意識向上を目的とした啓発活動等の実施	―	―	●総合計画審議会の意見 ・現状と課題①に**「高齢者が犯罪に巻き込まれる事案」を追記したため、取組（３）を追加**しました。 【追加】 **（３）地域や関係機関が連携し、高齢者を中心に市民全体の防犯対策意識向上を目的とした啓発活動等の実施**
（４）**防犯灯の増設や**公共施設を中心に防犯カメラを増設することによる防犯力の向上	・防犯灯をもっと増やしてほしい、どこにつけてほしいなどの相談ができる仕組みがほしい、子どものお願いポスト、HPの窓口の設置など ・意見や要望を出せるHPのフォームと、どのような意見が上がったのか明らかにする、見えるようにする	１．高齢者が犯罪に巻き込まれるケースの課題や取組を追記する場合は、（３）と（４）を「防犯灯と防犯カメラの設置による防犯力の向上」等にまとめて記載していただきたい。（主な取組は５つまでとしているため。）	●まちづくり市民委員会の意見 ・防犯灯については、電気料金の支払いや設置希望箇所付近の住民の理解（夜間の光害など）を得る必要があります。そのため、地元区長に相談していただき、行政区として防犯灯設置が必要であると判断された場合、行政区長から市に申請書を提出、現地調査、決定、点灯の流れにより防犯灯を設置しています。 ●総合計画審議会の意見 **（３）と（４）はまとめて記載**します。 【修正前】 （３）防犯灯の増設による危険個所の解消 （４）公共施設を中心に防犯カメラを増設することによる防犯力の向上 【修正後】 （４）**防犯灯の増設や**公共施設を中心に防犯カメラを増設することによる防犯力の向上
（５）適切な指導等による空き家の適切な管理の推進	―	―	―
※ 素案（たたき台）に記載のない取組	・老人クラブなどのサークル活動でつながりづくり	―	●まちづくり市民委員会の意見 ・高齢者がつながりを持つことで地域の防犯力の向上につながると考えます。基本目標4-政策（3）-施策①に包含するものと整理し、取組を進めてまいります。

まちづくり市民委員会及び総合計画審議会で出された意見等への対応

基本目標３	みんなの命と暮らしを守るまちづくり
政策	（３）防犯・交通安全の推進
施策	②　交通安全対策の強化

現状と課題

素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見	総合計画審議会の意見	意見を受けての対応等
①交通安全教室の開催等による児童生徒への指導や、登下校時の見守り活動に取り組んでいますが、交通事故は依然として発生している状況です。 ②糸島警察署管内の飲酒運転検挙件数は増加しており、飲酒運転の撲滅には至っていません。 ③高齢者の運転による事故は増加しており、交通事故全体に占める割合も増加しています。	・歩道が狭く歩きにくい ・道路標示の管理ができていない ・横断歩道が少ない ・ドライバーのマナーが悪い（若い人） ・カーブミラーの管理ができていない ・広報の郵送によりコミュニケーションなし ・道路表示が消えている ・道路が暗い	１．週末の交通量が増加しており、危険な運転をする人も多いため、週末の観光客等の運転のマナーについての課題も追記していただきたい。	●まちづくり市民委員会の意見 ・「歩道整備」「道路標示」「マナーが悪い」等の意見について、基本目標６-政策(3)-施策②に包含するものと整理し、取組を進めてまいります。 ●総合計画審議会の意見 １．ご指摘のとおり、観光客の運転マナーの問題により、市民生活に支障を及ぼす事案が発生しています。基本目標５-政策(3)-施策①に包含するものと整理し、取組を進めてまいります。

施策の基本方針

素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見	総合計画審議会の意見	意見を受けての対応等
❶学校や警察・交通安全協会・地域と連携し、交通安全教育・啓発活動の充実・強化を図ります。 ❷飲酒運転撲滅に向け、引き続き啓発活動の充実・強化を図ります。 ❸高齢者の運転事故防止に向けた取組を推進します。	・免許返納しても安心して暮らせるまちづくり ・子どもを見守る高齢者のネットワーク化	―	●まちづくり市民委員会の意見 ・「免許返納後の対策」について、基本目標６-政策（２）-施策①に包含し、市民の皆さんの具体的な思いとして整理します。 ・「子どもの見守り」について、基本目標３-政策（３）-施策①に包含すると整理し、具体的な取組を進める際の参考とします。

主な取組			
素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見	総合計画審議会の意見	意見を受けての対応等
（１）交通安全県民運動期間を中心に、関係団体と連携した交通安全対策の強化	―	―	―
（２）通学路合同点検、学校における交通安全指導、交通安全教室による児童・生徒の安全確保	・講習会の実施 ・歩道整備 ・子どもの通学を見守る体制の整備	―	**●まちづくり市民委員会の意見** **・「講習会の実施」について、取組を進める際の参考とします。** **・「歩道の整備」について、基本目標６-政策（３）-施策②に包含させていただきます。** **・「通学を見守る体制の整備」について、基本目標３-政策（３）-施策①に包含させていただきます。**
（３）看板設置によるドライバーへの注意喚起	―	―	―
（４）駅前キャンペーンや飲食店への啓発などによる飲酒運転の撲滅に向けた取組	―	―	―
（５）運転免許証の自主返納の促進や安全運転教室の開催などによる高齢者の運転事故の防止	・バスを効率よく運行 ・免許返納後に不便にならないような対策を（ドローンで配達など）	―	**●まちづくり市民委員会の意見** **・「バスを効率よい運行」「免許返納後の対策」について、基本目標６-政策（２）-施策①に包含すると整理し、取組を進める際の参考とします。**
※ 素案（たたき台）に記載のない取組	・自治会に入っていない人との情報共有など ・防災士の地域での活動 ・あいさつ運動の実施	**１．ハード整備の取組が必要である。市民委員会からも意見が出ているため、「歩道やカーブミラー、道路標示に関する交通安全施設の充実化」を追記していただき、取組（３）と（４）まとめて記載していただきたい。**	**●まちづくり市民委員会の意見** **・「自治会未加入者との情報共有」「あいさつ運動の実施」について、基本目標２-政策（１）-施策①に包含するものと整理し、取組を進めてまいります。** **・防災士の地域での活動について、基本目標３-政策（１）-施策①に包含するものと整理し、取組を進めてまいります。** **●総合計画審議会の意見** **１．基本目標６-政策（３）-施策②道路などの安全対策とバリアフリー化にて取組を進めます。** **【追記：掲載の仕方については精査予定】** **※道路や歩道の整備など、交通安全対策に必要なインフラの整備については、基本目標６の取組として進めます。**

まちづくり市民委員会及び総合計画審議会で出された意見等への対応

―	―
重点課題２	防災・減災対策
施策	市民一人ひとりの防災力が高いまち“いとしま”プロジェクト

現状と課題

素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見	総合計画審議会の意見	意見を受けての対応等
①主に学校で活用している市独自の防災教育ポータルサイトを家庭や地域でも活用し、防災・減災意識を高める必要があります。 ②地域における防災人材を発掘・育成し、自主的な活動を促進しながら、地域の防災力の向上につなげる必要があります。 ③自主防災組織の活動が地域としての活動に発展していない現状があります。	・市独自の防災教育ポータルサイトを知らない ・窓を閉めていると、防災無線が聞こえない ・具体的なアクションがない、見えない ・歩ける平らな道でない ・下水道、上水道の文字が消えている ・街灯のデザイン、糸島の景観との調和 ・災害があった時はみんな被災者、どう自分で行動し、何ができるか ・マンホールの文字が消えてスリップ	―	**●まちづくり市民委員会の意見** **・「防災教育ポータルサイトの情報を知らない」というご意見については、すでに市の公式ホームページや広報、出前講座、学校現場などで周知を行っています。引き続き広報活動を行っていきますが、自助・共助の観点からも、市民の皆様には自ら情報を収集する意識を高めていただくよう努めてまいります。** **・防災行政無線が聞こえないことに対しては、戸別受信機の貸し出しや、放送内容確認ダイヤル、ホームページなどで対応を行っております。**

施策の基本方針

素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見	総合計画審議会の意見	意見を受けての対応等
❶防災教育ポータルサイトの学校や家庭、地域での活用を促進するとともに、繰り返し活用することができる環境を整備します。 ❷地域の防災士を取りまとめる防災マイスターを認定しながら、その活動を通じて地域の防災力を高めます。 ❸自主防災組織の活動への幅広い世代の参画、意見等の反映を図りながら、学校や家庭、地域が共同・連携した防災教育を実施します。	・市民の防災意識向上 ・安全な避難ができるまち	―	**●まちづくり市民委員会の意見** **・「市民の防災意識の向上」「安全な避難ができるまちづくり」については、地域の防災士や防災マイスターが中心となった自主防災組織等による活動の支援が必要と考えるため、基本目標３-政策（３）-施策①に包含し、具体的な取組を進める際の参考とします。**

主な取組			
素案（たたき台）	まちづくり市民委員会の意見	総合計画審議会の意見	意見を受けての対応等
（１）情報の追加・更新による防災教育コンテンツの活用促進及び情報更新等	―	**１．防災教育コンテンツはホームページを活用した取組だと考えられるが、若い世代が利用するようSNSの活用を検討していただきたい。また、適切に発信・周知するための手段を追記していただきたい。**	**●総合計画審議会の意見** **１．防災教育ポータルサイト「マモリンクイトシマ」の活用促進のために必要と思われるＳＮＳの活用を積極的に検討します。また、適切に発信・周知するための手段の追記については、基本目標３-政策（１）-施策②「防災・減災基盤の整備」の施策の基本方針❶「情報の多重化を図り、災害時等の確実な情報収集・情報伝達手段を確保します」に包含するものと整理します。**
（２）防災士・防災マイスターの育成やスキル向上	―	―	―
（３）地域の子どもを対象とした防災検定を通じたジュニア防災士の育成	―	―	―
（４）防災マイスター等を中心とした学校・家庭・地域が共同・連携した防災訓練等の実施	―	―	―
※ 素案（たたき台）に記載のない取組	・行政からのわかりやすい情報発信 ・ハザードマップの普及 ・避難に支援が必要な人の把握 ・防災をマンガで伝えるようなコンテンツを作成してみてはどうか ・元気な高齢者を防災マスターへ ・防災検定とジュニア防災士はもうすでにある制度なのか、これからの取組なのか ・防災の設備がどこにあるのかわからないため、行政区などでわかるようにしてほしい（知らないとできない） ・パッと見てパッとわかるように ・街灯の非常電源、予備電源の整備 ・災害情報をきちんと流してほしい ・安全避難のための通路 ・Wi-Fiが使えるように ・避難させる人がどこにいるかといった情報の共有	**１．高校生や大学生、20代から30代の若い世代の防災に対する意識が低いのではないか。（４）に含まれるかもしれないが、若い世代への取組の実施を検討していただきたい。** **２．被災した時に、自分の現在地がわかるための環境づくりに取り組んでいただきたい。** **３．若い人の防災意識を高めるため、災害時のボランティアを経験する場や、ボランティア経験者の講話等、実体験を通した防災教育を検討していただきたい。**	**●まちづくり市民委員会の意見** **Ｑ．防災検定とジュニア防災士はもうすでにある制度なのか、これからの取組なのか** **Ａ．防災検定は、ジュニア防災士の認定に必要なものとしており、現在ある制度ではありません。防災検定は、防災教育ポータルサイトのコンテンツを改修する予定です。** **・情報発信に関する意見は、市民の皆さんの思いとして整理し、具体的に取組を進めていく際の参考にさせていただきます。今後も、市民の皆さんには市の公式ホームページや広報、出前講座、学校現場などを通じて周知を行っていきます。** **・その他意見については、地域の防災力の強化や防災・減災基盤の整備の取組を進める際の参考とします。** **●総合計画審議会の意見** **１・３．後期基本計画では、ジュニア防災士を新たに認定することで、子どもやその保護者を地域防災への関わりを想定しています。それ以外の高校生や大学生、20～30代の若い世代への取組みについては、地域コミュニティの醸成に関する施策と連動した取組を検討します。** **２．被災時に、自分の位置情報を把握するには、スマートフォンアプリの活用が効果的と考えられます。アプリの有効性等を検討し、市民の皆さんへ周知を行っていきます。**